

品番	WZ 7519	埋込型
	WZ 7519W	埋込型/ホワイト
	WZ 7519CW	埋込型/セラミックホワイト
	WZ 7519H	埋込型/グレー
	WZ 7520	露出型1コ口

### 施工説明書

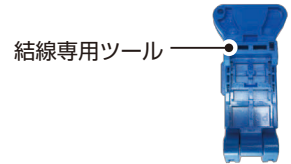
■施工前に必ずこの説明書をお読みください。

配線器具にも寿命があります。

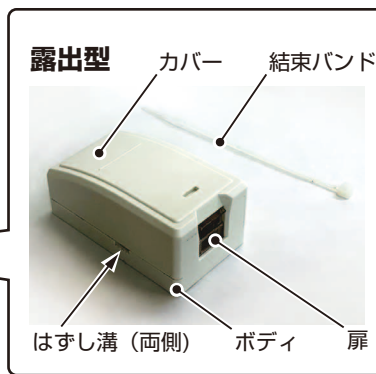
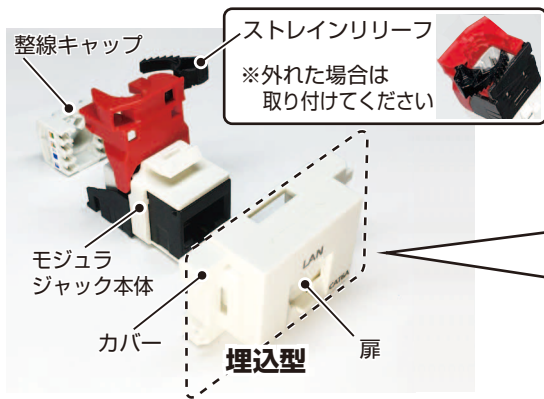
取付場所や使用状況によって異なりますが、10年※を超えたものは、特に点検が重要です。 ※：製品の保証期間ではありません。

### 施工上のご注意

- 結線には結線専用ツール(品番:WZ7521(別売))を使用してください。
- 再結線は4回以内にしてください。
- 配線は電力配線と15 cm以上の離隔距離を設けることをお勧めします。電力線からのノイズにより、まれに伝送不良が発生することがあります。



### 各部のなまえ



### 適用ケーブル

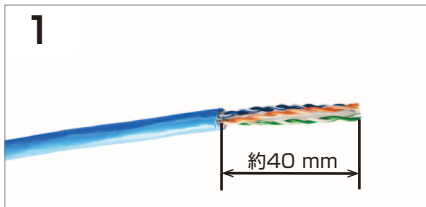
CAT6A 対応UTPケーブル：

- 単線： AWG 26 ~ AWG 22
- より線： AWG 26 ~ AWG 22
- ケーブル外径： φ4.5 mm ~ φ8.0 mm

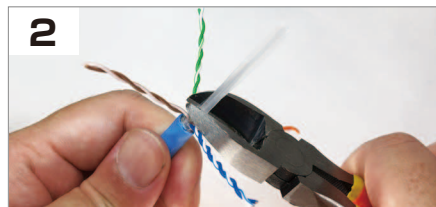
<推奨ケーブル>

日本製線(株)製CAT6A対応UTPケーブル

### 結線方法



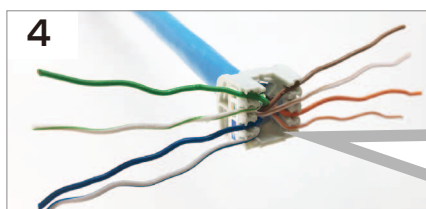
ケーブル外被を約40 mm剥く  
注) 心線を傷つけないように外被を剥いてください。



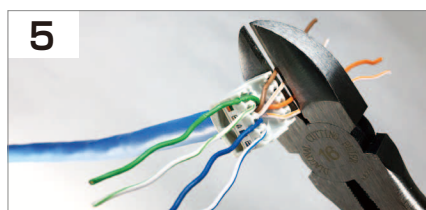
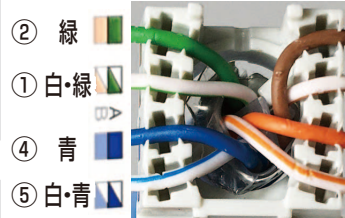
十字介在を確実に外被の根元で切る



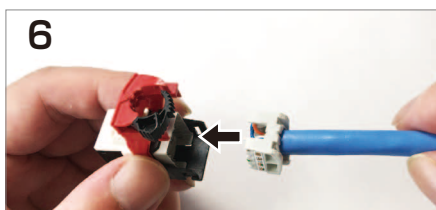
整線キャップをケーブルの外被に当たるまで挿入する



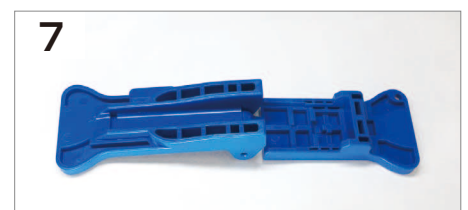
ラベルの表示色に合わせて整線キャップの溝に挿入する



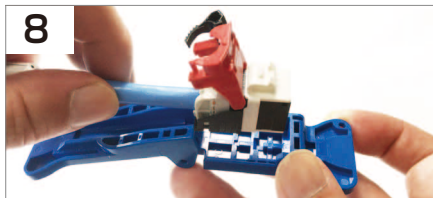
整線キャップから出ている余分な心線をニッパーなどで切断する  
注) 心線は1 mm以上はみ出さないようにしてください。



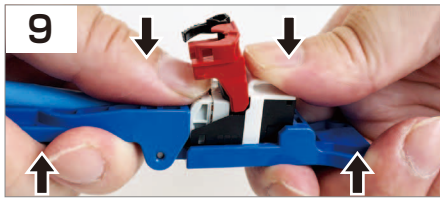
モジュラジャック本体に整線キャップをかん合させる  
注) 整線キャップの向きが異なるとかん合できません。



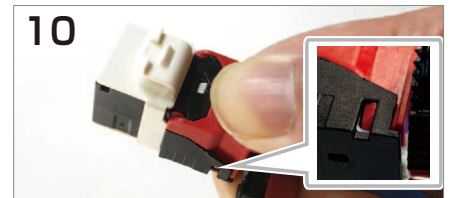
結線専用ツールを広げる



8  
結線専用ツールに、かん合せしたモジュラジャック本体とケーブルをのせる



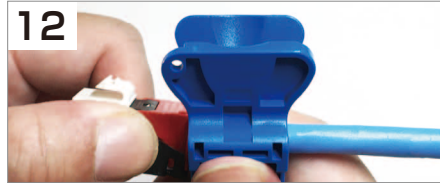
9  
テコの原理を利用し、整線キャップをモジュラジャック本体に押し込む



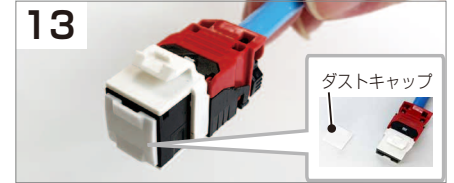
10  
モジュラジャック本体のカバーを「カチッ」となるまで押し込む



11  
結線専用ツール本体の凹みに、モジュラジャックのカバーの斜めにカーブしている部分を引っ掛けて固定する

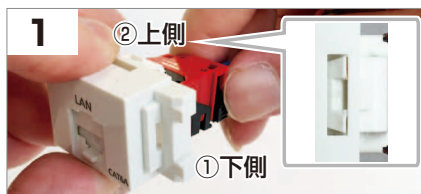


12  
結線専用ツールを閉じながらストレインリリーフでケーブルを固定する



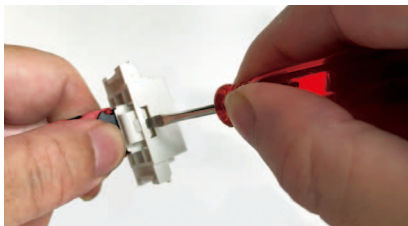
13  
ダストキャップを外す  
注) ダストキャップは処分してください。

## 埋込型の場合



1  
カバーにモジュラジャック本体を取り付ける  
①下側 ②上側の順にはめる

### カバーの外し方

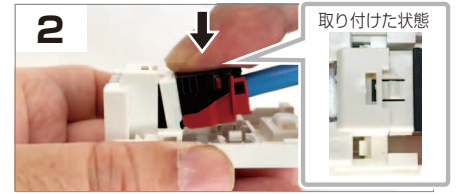


マイナスドライバーなどではめ込み部分を上側から押して外す

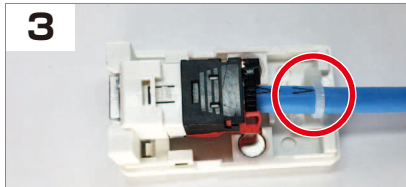
## 露出型の場合



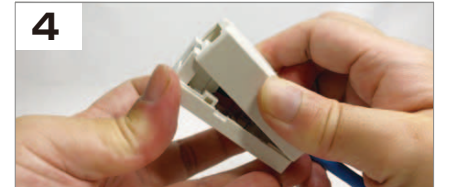
1  
カバーを取り外す  
はずし溝へマイナスドライバーなどを斜め下から差し込みカバーを浮かせ、反対側も同様にする



2  
ボディにモジュラジャック本体を取り付ける



3  
ケーブルを結束バンドで固定する



4  
カバーを取り付ける  
ケーブル側を軸にしてはめ込む

ボディからの外し方



結束バンドを切断し、モジュラジャック本体のケーブル側を持ち上げる  
再度固定する場合は市販の結束バンドをご使用ください

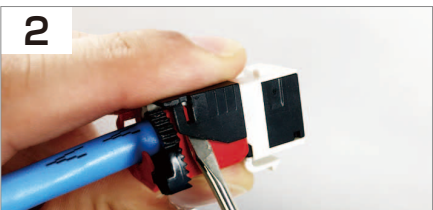
## 結線取り外し方法



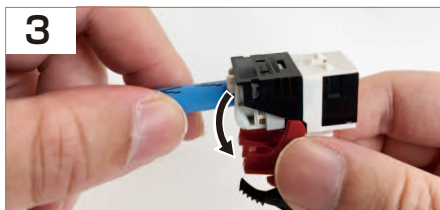
1  
マイナスドライバーなどでかん合せしたストレインリリーフを押し外す



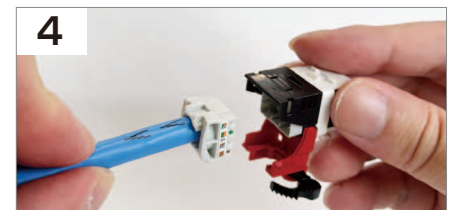
2  
ストレインリリーフを外した状態



3  
マイナスドライバーなどを写真のように差し込んで隙間をつくり、カバーのはめ込み部分を外す(両側面)



4  
モジュラジャック本体の、カバーを開く



5  
ケーブルとモジュラジャック本体を持ってまっすぐ引っ張り、外す